

(様式3)

事業所名 愛の家グループホーム 新潟鳥屋野

作成日: 平成 23 年 4 月 25 日

目標達成計画

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害対策 年2回日中・夜間を設定した非難訓練は行っているが、地震を想定した避難訓練を一度も行っていない。また、避難訓練に地域の方の参加が得られていない。	年2回消防署の参加を得て、地震を想定した避難訓練を行っていく。自治会や地域の皆様にも参加協力をお願いし実施していく。	防火管理者と連携をとり、地震想定での避難訓練を計画する。自治会や近隣の方に案内文を配り、参加をお願いする。また消防署の参加を得て、非常災害時の地域との連携体制の必要性等、専門的立場からの指導を頂く。	6ヶ月
2	6	身体拘束をしないケアの実践 前面道路の交通量があり危険であるため、日中もホームの玄関の施錠をしている。施錠していれば安心であるという意識が根付いている。	身体拘束を行わないケアを目指し、日中は玄関の施錠を行わない方針を、スタッフ全員で共有して実践していく。	リーダー会議で方向性を共有し、ユニット会議で具体的な取り組み方の意見を求める。全体会議で全員に考え方を周知すると共に、ご家族様の意見を確認した上で、施錠しない取り組みを行っていく。単独外出事故に繋がらないようにマニュアルを再度確認していく。	8ヶ月
3	33	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 契約時に基本的な方針をご家族にお話して理解を求めているが、利用者の状態が変化し重度化した際の具体的な対応について、再度、確認の機会を設けていない。	早い段階から、重度化したときや終末期についての方針、対応について、ご家族様と話し合う機会を設けていく。また意向を聴き、医療機関と連携をとりながら、ご本人にとって一番良い支援に繋がるよう努力していく。	状態の変化が見られたらその都度、ご家族の将来の希望、要望を確認していく。重度化した場合や終末期にグループホームとして、できる最良の対応を往診医や訪問看護等と話し合い、コミュニケーションを取っていく。また支援できている事業所に話を聴き、参考にしていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月